



平成26年11月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年10月8日

上場会社名 株式会社くろがね工作所 上場取引所 東
 コード番号 7997 URL <http://www.kurogane-kks.co.jp>
 代表者 (役職名) 取締役社長 (氏名) 神足 泰弘
 問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役 (氏名) 神足 尚孝 (TEL) 06(6538)1010
 四半期報告書提出予定日 平成26年10月9日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年11月期第3四半期の連結業績(平成25年12月1日～平成26年8月31日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年11月期第3四半期	7,775	2.9	147	38.8	100	99.7	84	74.9
25年11月期第3四半期	7,554	△6.8	105	△18.3	50	△39.5	48	0.8

(注) 包括利益 26年11月期第3四半期 27百万円(△82.9%) 25年11月期第3四半期 162百万円(74.0%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年11月期第3四半期	4 98	—
25年11月期第3四半期	2 85	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
26年11月期第3四半期	11,672	3,958	33.8
25年11月期	11,434	3,931	34.3

(参考) 自己資本 26年11月期第3四半期 3,946百万円 25年11月期 3,920百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年11月期	—	—	—	0 00	0 00
26年11月期	—	—	—	—	—
26年11月期(予想)	—	—	—	0 00	0 00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成26年11月期の連結業績予想(平成25年12月1日～平成26年11月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	10,700	3.9	230	42.4	160	85.5	150	43.9	8 80

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
 新規 一社(社名) 、除外 一社(社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	26年11月期3Q	18,571,139 株	25年11月期	18,571,139 株
② 期末自己株式数	26年11月期3Q	1,531,964 株	25年11月期	1,531,575 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	26年11月期3Q	17,039,292 株	25年11月期3Q	17,040,518 株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

- この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了しております。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- 本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	P. 2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	P. 2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	P. 2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	P. 3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	P. 4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	P. 4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	P. 4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	P. 4
3. 四半期連結財務諸表	P. 5
(1) 四半期連結貸借対照表	P. 5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	P. 7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	P. 9
(継続企業の前提に関する注記)	P. 9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	P. 9
(セグメント情報等)	P. 9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府の金融・財政政策により、円安・株高基調が持続しており、輸出関連企業を中心として採算性の向上に伴う企業収益の改善がみられましたが、一方円安は輸入価格やエネルギー等の価格を押し上げ、企業収益を圧迫しております。個人消費も、消費税増税前の駆け込み需要があり景気回復の兆候がみられましたが、反動減の影響が大きく消費需要は低迷しました。

このような経営環境のもと、当社グループは、オフィスのICT化によるオフィス環境整備需要への対応、病院のリニューアル・統廃合需要、高齢者関連施設での設備投資需要の拡大に対応して、市場開拓に積極的に取り組んでまいりました。

これらの結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は7,775百万円（前年同四半期比2.9%増）、営業利益は147百万円（前年同四半期比38.8%増）、経常利益は100百万円（前年同四半期比99.7%増）、四半期純利益は84百万円（前年同四半期比74.9%増）となりました。

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

(家具関連)

オフィス家具市場は、首都圏・西日本地区における金融機関の店舗その他施設の移転・統合案件、什器リニューアル案件の取り込み、首都圏でのオフィスの移転案件、教育施設及び医療関連施設への積極的な営業展開等に努力しました。また学習家具市場は、デザイン・機能面で差別化された商品を投入いたしました。

その結果、家具関連の売上高は4,769百万円（前年同四半期比0.8%減）、セグメント利益（営業利益）は4百万円（前年同四半期比96.5%減）となりました。

(建築付帯設備機器)

当社の主力商品である懸垂式引戸「アキュドア・ユニット」については、耐久性に高い評価を受け、全国的に医療施設の老朽化に伴う建て替え案件と、耐震化による改築・リニューアル案件の受注が順調に推移しました。また病院向けの医療ガスアウトレット／情報端末内蔵型設備「メディウワード・ユニット」については積極的にスペックイン活動を展開するとともに新たな省エネ空調システムの提案営業に積極的に取り組みました結果、売上高は前年同四半期を上回る結果となりました。

その結果、建築付帯設備機器の売上高は3,005百万円（前年同四半期比9.4%増）、セグメント利益（営業利益）は342百万円（前年同四半期比118.3%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

資産、負債、純資産の状況について

(資産)

当第3四半期連結会計期間の総資産は11,672百万円となり、前連結会計年度末に比べて237百万円増加いたしました。この主な要因は現金及び預金が284百万円、たな卸資産が381百万円それぞれ増加し、受取手形及び売掛金が391百万円減少したこと等によるものであります。

(負債)

当第3四半期連結会計期間の負債は7,713百万円となり、前連結会計年度末に比べて210百万円増加いたしました。この主な要因は長短借入金が79百万円、流動負債のその他が207百万円それぞれ増加したこと等によるものであります。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間の純資産は3,958百万円となり、前連結会計年度末に比べて26百万円増加いたしました。この主な要因は利益剰余金が84百万円増加し、その他有価証券評価差額金が59百万円減少したこと等によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第3四半期連結累計期間における業績及び今後の見通しを勘案した結果、現時点では平成26年1月17日に公表しました業績予想からの変更はありません。

上記の予想は、当社が本資料の発表日現在において入手可能な情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいております。実際の業績は、今後の経済情勢など様々な要因によって大きく異なる結果となる可能性があります。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年11月30日)	当第3四半期連結会計期間 (平成26年8月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,280,687	1,565,445
受取手形及び売掛金	2,150,790	1,758,828
商品及び製品	781,945	902,586
仕掛品	1,116,087	1,333,678
原材料及び貯蔵品	200,123	243,341
その他	96,388	99,512
貸倒引当金	△6,536	△9,262
流動資産合計	5,619,485	5,894,131
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	1,716,654	1,687,550
土地	2,375,281	2,375,281
その他(純額)	270,259	310,771
有形固定資産合計	4,362,195	4,373,603
無形固定資産		
	63,091	53,108
投資その他の資産		
投資有価証券	1,229,476	1,165,955
その他	176,078	213,886
貸倒引当金	△15,352	△28,572
投資その他の資産合計	1,390,203	1,351,269
固定資産合計	5,815,490	5,777,982
資産合計	11,434,976	11,672,113
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,996,572	1,972,689
短期借入金	1,274,500	1,411,800
1年内返済予定の長期借入金	951,313	1,062,232
未払法人税等	31,465	12,964
賞与引当金	—	32,467
その他	770,660	978,658
流動負債合計	5,024,512	5,470,812
固定負債		
長期借入金	1,431,195	1,262,697
リース債務	144,880	120,086
退職給付引当金	323,658	337,990
役員退職慰労引当金	10,438	10,438
再評価に係る繰延税金負債	411,890	411,890
その他	157,065	99,877
固定負債合計	2,479,128	2,242,980
負債合計	7,503,640	7,713,792

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年11月30日)	当第3四半期連結会計期間 (平成26年8月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,998,456	2,998,456
利益剰余金	200,445	285,380
自己株式	△157,298	△157,353
株主資本合計	3,041,603	3,126,483
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	163,630	103,685
繰延ヘッジ損益	549	1,388
土地再評価差額金	714,477	714,477
その他の包括利益累計額合計	878,656	819,551
少数株主持分	11,075	12,285
純資産合計	3,931,335	3,958,321
負債純資産合計	11,434,976	11,672,113

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 四半期連結損益計算書
 第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年12月1日 至平成25年8月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年12月1日 至平成26年8月31日)
売上高	7,554,750	7,775,594
売上原価	6,008,765	6,098,061
売上総利益	1,545,984	1,677,532
販売費及び一般管理費	1,440,055	1,530,527
営業利益	105,929	147,005
営業外収益		
受取利息	44	116
受取配当金	15,798	17,540
持分法による投資利益	4,118	5,380
仕入割引	11,081	12,922
その他	3,541	4,041
営業外収益合計	34,583	40,001
営業外費用		
支払利息	60,686	56,151
支払手数料	7,823	17,781
その他	21,904	13,041
営業外費用合計	90,413	86,974
経常利益	50,099	100,032
特別利益		
固定資産売却益	—	626
投資有価証券売却益	14,650	57,238
特別利益合計	14,650	57,864
特別損失		
固定資産除却損	—	316
電話加入権評価損	449	463
投資有価証券評価損	—	47,949
特別損失合計	449	48,730
税金等調整前四半期純利益	64,300	109,166
法人税、住民税及び事業税	16,241	22,273
法人税等調整額	△0	△2
法人税等合計	16,241	22,271
少数株主損益調整前四半期純利益	48,059	86,895
少数株主利益又は少数株主損失(△)	△501	1,960
四半期純利益	48,560	84,935

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年12月1日 至平成25年8月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年12月1日 至平成26年8月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	48,059	86,895
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	119,672	△59,985
繰延ヘッジ損益	△5,425	839
持分法適用会社に対する持分相当額	203	40
その他の包括利益合計	114,451	△59,105
四半期包括利益	162,510	27,790
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	163,012	25,830
少数株主に係る四半期包括利益	△501	1,960

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第3四半期連結累計期間(自 平成24年12月1日 至 平成25年8月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	家具関連	建築付帯 設備機器	計		
売上高					
外部顧客への売上高	4,807,545	2,747,205	7,554,750	—	7,554,750
セグメント間の内部 売上高または振替高	—	—	—	—	—
計	4,807,545	2,747,205	7,554,750	—	7,554,750
セグメント利益	143,089	156,809	299,898	△193,968	105,929

(注) 1 セグメント利益の調整額△193,968千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。なお、全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第3四半期連結累計期間(自 平成25年12月1日 至 平成26年8月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	家具関連	建築付帯 設備機器	計		
売上高					
外部顧客への売上高	4,769,777	3,005,816	7,775,594	—	7,775,594
セグメント間の内部 売上高または振替高	—	—	—	—	—
計	4,769,777	3,005,816	7,775,594	—	7,775,594
セグメント利益	4,982	342,304	347,287	△200,281	147,005

(注) 1 セグメント利益の調整額△200,281千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。なお、全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。